

<第2期中期計画策定の基本的な考え方>

- 第1期の取組を基本的に継続・充実
- 第2期中期目標で新たに追加・修正された事項について、対応する取組を追加・修正
- 達成済みの計画等の整理・統合
- 数値指標の見直し(第1期期間中に達成が見込まれる指標は上位修正、未達成が見込まれる指標は第1期の数値を目標値を基本)

基本目標

①学生を大きく伸ばす教育力の高い大学

・学生の課題解決力を身につける実践重視の教育を推進し、地域社会はもとより国際社会で活躍できる有為な人材を育成する。

②未来を志向した高度な研究を推進する大学

・基盤的・先端的な研究を推進し、県内産業、保健及び医療の発展はもとより国内と世界の学術の向上に貢献する。

③広く開かれ地域社会に貢献する大学

・富山県における知の拠点として、優れた教育研究成果を広く地域社会に還元し、地域及び産業の振興並びに保健及び医療の充実に貢献する。

教育、研究、地域貢献に関する計画(目標を達成するための措置)

1 教育

第2期中期目標(案)

1 学生の確保

- ・多くの志願者の確保と県内の優秀な学生確保
- ・**出願のオンライン化**
- ・社会人や外国人留学生など多様な人材の受入れの促進

2 教育の内容

- (1) 教育内容の充実
- ・**オンライン教育の活用**



- (2) 特色ある教育の推進



3 教育の実施体制

- (1) 教職員の配置
- (2) 教育環境の整備・充実
- (3) 教育の質の改善

- (4) **専門看護師など高度な看護人材等の育成**

- (5) **デジタル化の進展に対応した人材の育成**

4 学生への支援

- (1) 学習支援
- (2) 生活支援
- (3) キャリア形成支援
- ・県内定着に向けた就職支援



第2期中期計画(案)

□ 学生確保に向けた戦略の展開

- ・大学認知度の一層の向上
- ・学生募集広報活動の一層の充実

新 □ インターネット出願の早期導入

□ 入学者選抜のあり方の改善

【指標】

- ・志願倍率 5倍台
- ・工学部 3倍以上
- ・看護学部 3倍以上
- ・入学者県内比率 工学部 30%台後半
- ・看護学部 60%以上
- ・大学院進学率 40%程度

新 □ 教育方法の工夫・改善

- ・遠隔授業の実施、学外からのオンライン講義等

新 □ 教育課程の体系化

新 □ 時代に即したカリキュラムの見直し

□ 学生の社会・学外活動への積極的な参加促進

【指標】

- ・地域協働科目実施教員割合 80%以上

□ 地方創生に向けた教育の推進

- ・学生の社会参画力や課題解決力を伸ばす特色ある教育を推進

□ 少人数教育、環境教育、キャリア教育の推進

- 工学と看護学の連携による授業科目の設定

□ 教職員の適切な配置、臨機に対応できる人事制度

新 □ 魅力ある教育施設の整備

- ・DX教育研究センター(仮称)の整備

新 □ FD活動の充実、学生による教育評価制度の充実

新 □ 看護系大学院の設置(仮) <調整中>

新 □ 専攻科の設置(仮) <調整中>

【指標】

- ・学生満足度(アンケート) 80%以上

新 □ デジタル化の進展に応じた人材の育成に向けたカリキュラムの充実

□ 学生の主体的な学習を支える体制等の充実

□ 学生の健康管理、メンタルヘルス支援等の充実

□ 企業と連携したインターンシップ制度の推進

□ キャリアセンター事業の強化・充実

【指標】

- ・工学部就職内定率 100%
- ・工学部県内企業就職率 50%以上
- ・看護学部県内就職率 60%以上

2 研究

第2期中期目標(案)

1 研究の方向性と研究の成果

- (1) 産業、保健及び医療の発展に貢献する研究の推進

新 □ デジタル化の進展に対応した研究の推進



- (2) 研究成果の地域・社会への還元

2 研究実施体制

- (1) 研究実施体制の充実

- (2) 研究環境の整備
- ・デジタル化の進展に対応した施設
- ・設備の充実

(3) 男女共同参画の推進

- (4) 研究活動の評価及び改善

3 地域貢献

第2期中期目標(案)

1 地域・社会への貢献

- (1) 産学官金・医療機関等の連携

- (2) 地域との連携

新 □ オンラインによるリカレント教育

- (3) 教育機関との連携

- (4) 地域課題解決への貢献

- (5) 地域への優秀な人材の供給



2 国際化の推進

- (1) 国際化に対応した人材の育成

- (2) 教職員の海外派遣の促進

【指標】

- ・学生の海外体験者数 145人
- ・留学生の在学者数 30人以上
- ・学術交流協定締結数 20件

第2期中期計画(案)

□ 産学官金・医療機関等の連携による産業、保健及び医療の発展に貢献する研究の促進

新 □ DX教育研究センター(仮称)の整備

□ 競争的外部資金の獲得の促進

□ プロジェクト研究の推進

新 □ 「くすりのシリコンバレー

新 □ TOYAMA」プロジェクト

新 □ 医療分野研究成果展開事業

□ 知的財産の活用促進

【指標】

- ・科学研究費補助金の採択件数 95件
- ・受託研究件数 35件
- ・共同研究件数 65件

□ 教育研究組織の見直し、地域連携センターの機能強化、県立大学研究協力会との連携促進

□ 教員の就業体制の見直し

新 □ 学外特別研修制度(サバティカル)等の利用促進

新 □ 女性研究者の研究力向上、女性限定公募の実施

□ 教員にインセンティブを与える評価の仕組みづくり

第2期中期計画(案)

□ 大学研究シーズと企業ニーズのマッチング促進

□ 企業人材育成支援の充実

□ 社会人の学び直し機能の強化

新 □ セミナー・講義をオンラインも活用して実施

□ 大学コンソーシアム富山事業の活用

□ 「教育」「研究」「地域連携」の観点からの地域課題解決

□ 授業や研究などを通じた交流の促進

【指標】

- ・社会人向けセミナー受講者数(年間) 130人
- ・公開講座受講者数(年間) 710人
- ・地域課題解決に向けた企業、NPOなど連携団体数 <調整中>

□ 学生の海外体験の促進、留学生の受入れの促進

□ 教職員の海外派遣の促進、海外研究者の受入促進

□ 海外大学などとの学術交流の促進

大学運営に関する計画(目標を達成するための措置)

4 業務運営の改善及び効率化

第2期中期目標(案)

第2期中期計画(案)

1 運営体制の改善

- (1) 機動性の高い運営の推進
- (2) 学外の意見が反映される運営の推進
- (3) 内部監査機能の充実

2 教育研究組織の見直し

- ・専門看護師、助産師、保健師を育成する体制の整備

3 人事の適正化に関する目標

- (1) 柔軟で多様な人事制度の適切な運用
- (2) 教員評価制度の適切な運用

4 事務の効率化に関する目標

- (1) 事務局組織の見直し
- (2) 事務処理の効率化
- ・リモートワークや業務全体におけるデジタル化

新

新

新

- ・理事長と学長の役割分担を明確にし、迅速に意思決定を行い、全学的な大学運営を行う。
- ・学外の有識者や専門家を理事等へ登用
- ・内部監査を効果的に行うための研修の実施

- ・看護系大学院の設置(仮) <調整中>
- ・専攻科の設置(仮) <調整中>

- ・専門業務型裁量労働制の導入の検討
- ・教員の意識改革や教育研究活動等の活性化を促進するため教員活動評価制度を適切に運用

- ・必要に応じて事務局の体制等の見直し

- ・リモートワークや業務全体におけるデジタル化の推進による事務処理の効率化

5 財務内容の改善

第2期中期目標(案)

第2期中期計画(案)

1 自己収入の増加

- (1) 外部研究資金等の獲得
- (2) 学生納付金の適正な徴収

2 予算の効率的な執行

3 資産の運用管理

- ・外部研究資金の申請に対する支援対英の充実
- ・学生納付金の多様な納入方法の導入
- ・業務の効率化、光熱水費の削減
- ・保有資産の有効活用、金融資産の適切な運用

6 自己点検評価及び情報の提供

第2期中期目標(案)

第2期中期計画(案)

1 評価の充実

2 情報発信の推進

- (1) 情報公開の推進
- (2) 積極的な広報の推進

- ・評価結果を大学運営、教育研究活動の改善に反映させる体制の整備、ホームページで公表

- ・運営状況、財務状況や評価内容等の情報公開
- ・広報体制の強化、積極的な情報発信

7 その他業務運営

第2期中期目標(案)

第2期中期計画(案)

1 施設設備の整備

2 安全管理

- (1) 安全衛生管理
- (2) 情報セキュリティ体制の強化

3 社会的責任

- (1) 法令順守の徹底
- (2) 人権の尊重
- (3) 男女共同参画の推進
- (4) SDGs
- (5) 働き方改革
- (6) 環境への配慮

新

新

- ・県立大学校舎長寿命化計画に基づく施設の維持管理、施設設備の定期的な点検

- ・全学的な安全管理体制の整備、危機管理体制の充実・強化
- ・情報セキュリティ体制の強化、情報管理の適正化

- ・法令遵守ガイドライン教職員研修の実施
- ・人権侵害防止のため相談体制の充実、啓発
- ・男女共同参画に関する研修など啓発活動
- ・SDGsに関する教育研究等に取り組む。
- ・教職員のワーク・ライフ・バランスの推進
- ・環境マネジメント活動の学外への周知

予算、短期借入金等(中期計画にのみ記載する項目)

8 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画

第2期中期計画(案)

1 予算

令和3年度～令和8年度
6年間の収入・支出の総額 <調整中>

2 収支計画

令和3年度～令和8年度
6年間の費用の部・収入の部の総額 <調整中>

3 資金計画

令和3年度～令和8年度
6年間の資金支出・資金収入の総額 <調整中>

9 短期借入金の限度額

第2期中期計画(案)

1 短期借入金の限度額 4億円

2 想定される理由 運営費交付金の受入遅延及び事故発生等により緊急に必要となる対策費として、借り入れることを想定

10 出資等に係る不要(見込)財産の処分計画

第2期中期計画(案)

なし

11 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

第2期中期計画(案)

なし

12 剰余金の使途

第2期中期計画(案)

決算において、剰余金が発生した場合は、知事の承認を受けて、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

13 その他法人の業務運営に関する事項

第2期中期計画(案)

1 施設及び設備に関する計画

老朽度合い等を勘案した施設及び設備の大規模修繕等については、県と協議のうえ決定する。

2 積立金の使途

前中期目標期間繰越積立金は、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

3 その他

なし